

シルバー連合

おおいた

No.
16



孔雀文馨 表



孔雀文馨 裏

大分県連合の重点

- シルバー事業活性化に向けた企画提案型事業の推進
- 事故「ゼロ」を目標とした安全・適正就業推進事業の推進
- 会員増強に向け、年間を通じてのシルバー事業普及啓発活動の展開
- 一般労働者派遣事業への本格的な取組み



社団法人 大分県シルバー人材センター連合会

〒870-0026 大分市金池町一丁目1番1号 大交セントラルビル 5階

TEL 097-540-6313 FAX 097-540-6315

文化財シリーズ

国宝、県重要文化財等々

大分県には全部で4つの国宝があります。

- ①宇佐神宮本殿(宇佐市)
- ②孔雀文磬(工芸品・宇佐神宮の宝物館に展示)
- ③富貴寺大堂(豊後高田市)
- ④臼杵摩崖仏(臼杵市)

今回の表紙は、大分県内にある国宝の一つである「孔雀文磬」を紹介します。「磬」は中国から伝わったもので、磬架にかけて、お坊さんたちがお経を唱える時に叩いて鳴らす道具です。鉄製や銅製のものが一般的です。この「孔雀文磬」は銅製の鑄造品で、中央に蓮の花の形をした撞座(叩く部分)、その左右に羽を拡げて向き合う二羽の孔雀の文様がほどこされています。裏面には漢字の銘文があり、「祐清」というお坊さんが、鎌倉時代の承元三年(1209年)に京都で鑄造したこの磬を、宇佐神宮の境内にあった弥勒寺の金堂に奉納したことが銘記されています。

八幡神は平安時代の初めに宇佐から京都の男山に分霊され、石清水八幡宮として朝廷の崇敬を受けていました。「祐清」とはこの石清水八幡宮の別当(最高責任者)の田中祐清と考えられています。彼は宇佐神宮弥勒寺の講師(最高責任者)も務めていました。この「孔雀文磬」は工芸品として優れているだけでなく、宇佐神宮、弥勒寺、石清水八幡の歴史を知るうえで貴重な美術工芸品です。

注「孔雀文磬」の写真は個人所有(著作権)の関係から転載はお断りします。



- 3 平成21年度 連合会通常総会の開催
- 3 平成21年度 連合会役員名簿
- 4 加耒常務理事兼事務局長 就任あいさつ
- 4 平成21年度 事業計画
- 5 職業安定部長就任あいさつ
- 5 「杵築市シルバー人材センター」のご紹介
- 5 平成21年度 シルバー人材センター役職員交替
- 6 平成21年度 企画提案方式事業実施一覧
- 7 平成21年度 緊急雇用創出事業実施一覧
- 8 シニアワークプログラム事業について
- 10 シニア就業支援プログラム事業
- 11 「全シ協定期総会決議」に係る要請行動
- 12 センターだより
- 14 安全エッセイ紹介
- 15 安全標語入選作・編集後記
- 16 平成21年度 会員名簿

平成21年度 連合会通常総会の開催

平成21年5月29日(金)に大分市の「大分第一ホテル」において、平成21年度通常総会が開催されました。

安東会長のあいさつの後、来賓として大分労働局職業安定部深井職業対策課長、大分県商工労働部光永参事、大分市商工農政部吉田部長の方々よりご祝辞を頂きました。

定款に基づき安東会長が議長に就任し議事に入りました。

平成21年度通常総会 団法人 大分県シルバー人材センター連合会



安東会長

第1号議案

「平成20年度事業報告について」

第2号議案

「平成20年度収支決算及び監査報告について」

第3号議案

「平成21年度事業計画(案)について」

第4号議案

「平成21年度収支予算(案)について」

第5号議案

「役員を選任(案)について」

を上程し、事務局説明の後、質疑を受け、全ての議案が満場一致で原案のとおり議決されました。

議長降壇をもって平成21年度の通常総会は盛会のうちに終了しました。

深井職業対策課長



光永参事



吉田部長



平成21年度(社)大分県シルバー人材センター連合会役員名簿

役員職名	氏名	現在所属団体とその役職
会長	安東 保	(社)大分市シルバー人材センター理事長
副会長	大塚 利男	(社)別府市シルバー人材センター理事長
理事	小笠 澄夫	(社)日田市シルバー人材センター理事長
理事	小嶋 敬吾	(社)佐伯市シルバー人材センター理事長
理事	清原 吉春	(社)宇佐市シルバー人材センター理事長
理事	太田 秀彦	(社)中津市シルバー人材センター理事長
理事	浅井 幸一	(社)国東市シルバー人材センター理事長
理事	都甲 昌叡	(社)豊後高田市シルバー人材センター理事長
理事	獅々賀福生	(社)由布市シルバー人材センター理事長
常務理事	加来 正年	(社)大分県シルバー人材センター連合会事務局長
監事	関谷 明運	(社)豊肥地域シルバー人材センター理事長
監事	神田 貞夫	(社)臼津地域シルバー人材センター理事長

就任あいさつ

シルバー人材センターを取り巻く情勢は、昨年後半からの景気の低迷による影響もあり、これまで右肩上がり伸びていた事業量も、平成20年度実績は対前年度実績を下回り今年度も対前年同月実績を下回っているところ です。

一方、シルバー人材センター会員数は、高齢化社会が進展するなかで景気低迷に伴う雇用情勢の変化もあり、また、国のシルバー人材センター活性化計画（会員数100万人目標）の推進等により増加傾向で推移しています。

このような中、シルバー人材センター事業は今大きな局面を迎えており、「会員は増加したが仕事が無い」状況では、利用者の期待に応えられず、シルバー人材センターの存在価値も問われるところ です。

これらを打破するには、現状を認識し、センター事務局と会員が一体となり知恵を出し、地方自治体の援助に頼るだけでなく、自主・独自事業の開発、



加来 正年

（かく まさとし）

常務理事兼事務局 局長

（社）大分県シルバー人材センター連合会

就業先の開拓、国の新規事業の活用等により財政基盤を確立し、地域の方々に喜ばれるセンターとなるのが重要と思われ ます。

私は平成19年4月に連合会に採用され3年目を迎えていますが、「センターあつての連合」を肝に銘じ、また、「困難を乗り越えれば未来がある」を目標に、センターと一体となった業務運営に当たり、一歩でも前進するよう微力ながら取り組んでまいりますので、よろしくお願 い申し上げまして就任に当たってのごあいさつといたします。

平成21年度事業計画

① 企画提案型事業

「教育支援」「子育て支援」「介護支援」「環境改善支援」の分野において、大分県が策定している「大分県総合計画」に沿い、事業推進の中核的人材やリーダーの育成に取り組み、県下シルバー人材センターの活性化に努める

② 一般労働者派遣事業

適正就業の徹底・維持を進めるにあたり、「雇用マガイ」就業の防止に向け、派遣事業への移行並びに高齢者の多様なニーズ等に応えるため、就業機会の拡大策として積極的に推進する

③ 安全・適正就業推進事業

安全就業対策、安全意識高揚策等を講じ、安全・適正就業の促進を図る

④ 普及啓発促進事業

地域におけるシルバー人材センターの存在・役割評価を高めるために、普及啓発促進月間の取り組みや年間を通じた普及啓発活動に努める

⑤ 交流研修事業

魅力あるシルバー人材センター事業の取り組みにあたり、役員研修や会計・経理担当者研修、

先進地視察研修などによるスキルアップに努める

⑥ 調査研究事業

新たな事業展開等、シルバー事業活性化計画への取り組みのための環境整備を図る

⑦ 指導相談事業

適正かつ効果的な事業運営を推進するため、助言・意見交換を実施する

⑧ センター設置促進事業

関係機関と調整を図り、センター未設置町村に対する設置勧奨に努める

⑨ 緊急雇用対策事業

就業機会を確保するため、就業開拓や情報収集に努める

⑩ シニアワークプログラム事業

高齢者の再就職に向けた技能習得のための講習等を実施する

⑪ シニア就業支援プログラム事業

雇用・就業や社会参加を希望する高齢者を対象として、地域のネットワークと連携・協力したワークショップの実施、就業ニーズと人材ニーズとのマッチング等々により再就職の支援を図る

職業安定部長就任あいさつ

シルバー人材センター並びに会員の皆様におかれましては、益々御清栄のこととお喜び申し上げます。

7月24日付けで大分労働局職業安定部長を拝命いたしました安蒜でございます。よろしく申し上げます。

着任以来、県内の豊かな自然、温泉、海の幸、山の幸など様々な大分の魅力を感じ、大分で仕事をしていくことに楽しみを感じております。

さて、少子高齢化が急速に進行する中、将来にわたって地域の経済社会の活力を維持するためには、高齢者が長年培ってきた豊富な知識や技能経験を活かし、できる限り経済社会の担い手として活躍していける環境を整備していくことが重要となっています。

このような状況の中、国では、平成21年度から4年間を対象に新たな「高齢者等職業安定対策基本方針」を策定するなど、高齢者等の雇用の安定の確保、再就職の促進及び多様な就業機会の確保を図ることとしております。

シルバー人材センターにおかれましては、新たに開始された教育・子育て・介護・環境分野での「企画提案方

大分労働局
職業安定部長
安蒜 孝至
(あんびる たかし)



式による事業」や「シルバー人材センター充実化推進事業」など、変化する社会のニーズに応じた事業の実施により、地域社会へ大きく貢献されているところであります。

今後、団塊世代が高齢期を迎える中で、高齢者が生涯現役で社会参加することが求められており、高齢者の多様な社会参加の受け皿として、シルバー人材センターの役割は一層期待されていくものと考えております。

大分労働局といたしましても、国の方針を踏まえ、シルバー人材センター事業が地域社会に根ざした事業として益々発展していくよう事業を推進してまいりたいと思います。

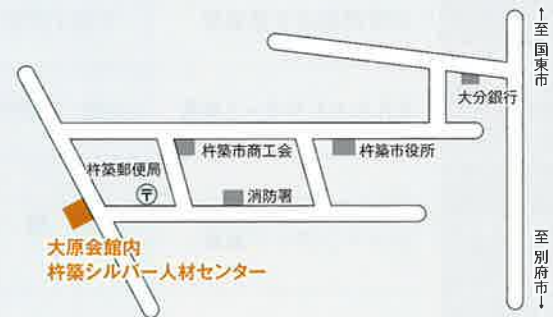
最後になりますが、シルバー人材センターと関係者の皆様の御活躍と御健勝を祈念しまして、あいさついたします。

「杵築市シルバー人材センター」のご紹介

「杵築市シルバー人材センター」として平成21年4月1日より連合会の正会員となりました。あわせて、「杵築市」も賛助会員になりました。

理事長 吉田 正男 事務局長 門岡 俊一

所在地
〒873-0002 杵築市大字南杵築1678番地
電話.0978-62-5677
FAX.0978-62-5699



平成21年度 シルバー人材センター 役員交替

各シルバー人材センターの理事長、事務局長に異動がありました。

シルバー人材センター名	役職	新任者	旧任者
(社)佐伯シルバー人材センター	理事長	小嶋 敬吾	上野 熊夫
(社)中津シルバー人材センター	理事長	太田 秀彦	福田 雅文
(社)中津シルバー人材センター	事務局長	清水 信	太田 秀彦
(社)白津地域シルバー人材センター	事務局長	三原 信一	薬師寺繁男
(社)国東シルバー人材センター	事務局長	瀬田 和夫	清末 敬徳
(社)豊肥地域シルバー人材センター	理事長	関谷 明運	田中 啓信
(社)豊肥地域シルバー人材センター	事務局長	川野 信行	武藤 英敏

平成21年度

企画提案方式事業実施一覧

センター名	事業名	事業分野	事業内容
連 合 会	シルバー人材センター 活性化人材育成事業	子育て 教 育 環 境 介 護	4分野のリーダー会員養成研修
			前期、後期の2回開催
			6日間の4時間研修
			各センター3名対象
大分市SC	軽度生活援助事業	介 護	外出援助・洗濯等援助
			庭、庭木の手入れ
			屋内整理、整頓
臼 津 地 域 S C	活き生きシルバー 地域サポート事業	介 護	ケアマネージャー説明会
			バリアフリー改修工事受注
	活き生きシルバー 子育てサポート事業		子育て教育
佐 伯 市 SC	中心市街地活性化事業	子育て・ 教育・環境	子育て相談（読み聞かせ教室） 固形石鹸の作り方・布草履の作り方
		介護・環境	集える場を提供 健康体操、手芸品作り、講話・地域との連携、交流を図る
豊 肥 地 域 S C	次世代教成支援事業	子育て教育	学童クラブ開設 宿題、工作、パソコン指導・遊びを通じた交流
	さんちゃんサポート事業	介護・子育て	生活援助（通院付き添い、屋内外整理整頓） 子供一時あずかり
国 東 市 SC	「仏の里」 クリーンアップ事業	環 境	有機堆肥製造、販売
			大豆、黒豆生産、販売
			味噌製造、販売
豊 後 高 田 市 S C	古の里農業 生き生き事業	教育・環境	児童の農業体験（種まき、草取り）
			そば植え付け
			シルバー農園による生産、販売



講習風景



松田 順子 先生



山岸 治男 先生

平成21年度

緊急雇用創出事業実施一覧

(社)大分県シルバー人材センター連合会

受注件名	高齢者就業支援事業委託業務	事業内容	就業開拓（高齢者の就業機会の確保）
------	---------------	------	-------------------

(社)大分市シルバー人材センター

受注件名	緊急雇用庭園・樹木管理委託事業 緊急職業能力開発校環境設備委託業務 高等技術専門学校環境設備委託業務 自転車等駐輪マナーアップ啓発業務委託	事業内容	除草作業 剪定・運搬作業 左官・ブロック・タイル張 駐輪場啓発業務
------	--	------	--

(社)臼津地域シルバー人材センター

受注件名	消防火災報知器設置状況調査業務 市道関連竹伐採業務 公園除草業務 県柑橘試験場除草業務	事業内容	家庭訪問調査 竹材伐採業務 公園内除草業務 試験場内除草業務
------	--	------	---

(社)中津市シルバー人材センター

受注件名	中子委第1号緊急雇用創出事業中津市公立保育所環境整備事業委託業務 緊急雇用第1号公園緑地草刈等委託業務 緊急雇用第2号公園トイレ清掃委託業務 第1号幼稚園・小中学校樹木剪定等委託業務 林緊委第1号中津市公共水路、ため池清掃維持事業委託業務 中本財委第1号緊急雇用対策本部耶馬溪支所市有財産管理（草刈）委託業務 道緊委第1号環境美化整備委託業務	事業内容	保育園内整備 公園内草刈 トイレ清掃 小中学校内樹木剪定 林道水路清掃 耶馬溪支所草刈 道路環境美化整備
------	---	------	--

(社)豊肥地域シルバー人材センター

受注件名	岡城址南面の里山林健全化推進事業 平成21年度ごみ等不法投棄除法事業 山里環境整備事業	事業内容	草・竹の伐採・柵積み・清掃 不法投棄によるゴミ除去作業 通学路沿線の環境整備
------	---	------	--

(社)豊後高田市シルバー人材センター

受注件名	健康交流センター「花いろ」環境整備 公園内清掃業務 市道草刈作業 工業団地内の草刈	事業内容	花植え替え等の花壇の設置 市内各公園の清掃及び剪定 観光道路の草刈美化 中核工業団地内の草刈環境美化
------	--	------	---

平成21年度

シニアワークプログラム事業について

シニアワークプログラム事業は、国の委託を受け、雇用就業機会の確保を促進することを目的とし、健康で働く意欲の旺盛な高齢者に対して、各種講習会を開催することにより一般労働市場で必要な技能・知識を取得していただき、地域の事業主団体やハローワークとの連携のもと合同面接会を実施するなど、高齢者に就職・就業の機会を提供する事業です。

講習は（社）大分県シルバー人材センター連合会及び各地域のシルバー人材センターが実施する長期講習・短期講習を計画しています。

平成20年度の各講習の実施状況をみてみると、長期講習では「ホームヘルパー養成研修」、「警備業務」、「造園業務講習」「子育て支援・高齢者家事援助講習」等24回開催し、422名の方が修了しました。また短期講習は、「介護業務講習」、「剪定講習」、「住宅・施設管理講習」、「育児・



家事援助講習」等18回開催し386名の方が修了しました。

平成21年度は、平成20年度の実績を踏まえながら地域労働市場の把握と分析に基づき、各地域のシルバー人材センターとの協議により、長期講習22回、短期講習7回を実施しています。

さらに、技能講習修了日には、各業種団体、事業所、施設等のご協力をいただき、ハローワークと連携し、合同面接会を開催しています。



平成 21 年度

(社)大分県シルバー人材センター連合会が実施する

講習会の
ご案内

連絡先 (社)大分県シルバー人材センター連合会 TEL (097) 540 - 6313

◆資格取得や技能・知識を身につけ、就職・就業を希望する方

訪問介護養成研修 ホームヘルパー 2 級課程	
県内 4 地域 定員各 25～30 名 1 日：4～6 時間(25 日間)	
大 分 市	6 月
豊後大野市	7 月
佐 伯 市	9 月
中 津 市	11 月

警 備 業 務	
県内 3 地域 定員各 20 名 1 日：4 時間(11 日間)	
大 分 市	8 月
別 府 市	9 月
中 津 市	10 月
大 分 市	1 月

平成 21 年度

各地域シルバー人材センターで実施する

講習会の
ご案内

連絡先 該当シルバーセンター人材センター

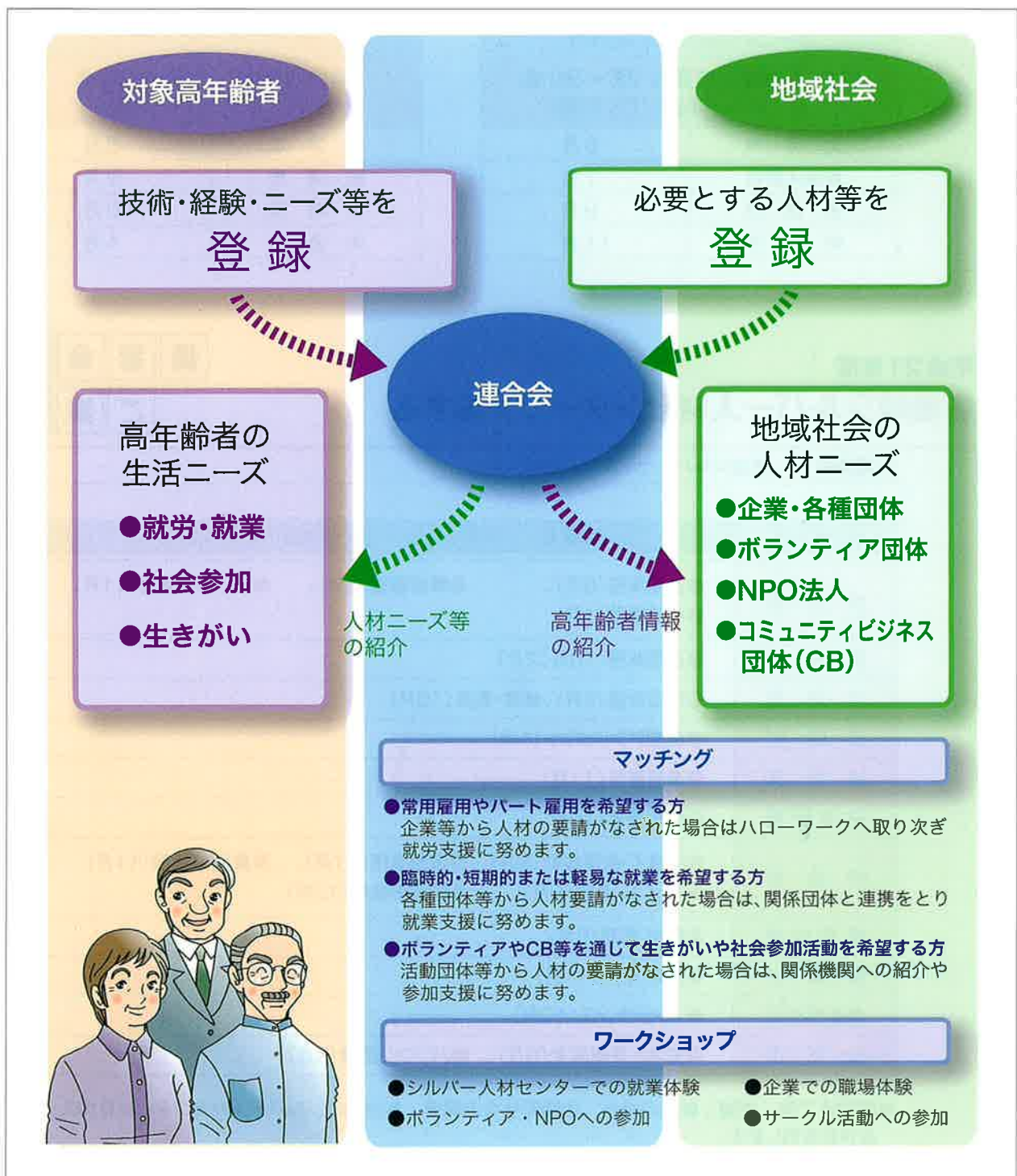
センター名	講習名	講習は 5 日～ 15 日間程度 (実施月は予定)
大 分 市	●造園業務(6月)、 ●手芸講習(1月)	●筆耕講習(6月)、 ●パソコン講習(11月)
別 府 市	●造園業務(10月、2月)	
中 津 市	●生活支援(9月)、表具・表装(10月)	
日 田 市	●造園アシスタント(1月)	
佐 伯 市	●造園業務(11月)	
臼 津 地 域	●剪定講習(10月)	
宇 佐 市	●子育て・家事援助(9月)、 ●パソコン基礎(6月)	●造園業務(11月)、 ●農作業管理(11月) ●緑地帯維持(12月)
豊 肥 地 域	●剪定・園芸(6月)	
国 東 市	●剪定・草刈(11月)	
豊 後 高 田 市	●メンテナンス(10月)	
由 布 市	●庭木と果樹剪定(6月)、	●パソコン基礎(9月)

※講習終了後、就職・就業の相談、合同面接会の開催、各地域のシルバー人材センター会員加入のお世話を致します。

※受講料はすべて無料です。

シニア就業支援プログラム事業

雇用・就業や社会参加を希望する高齢者（55歳以上）を対象に地域の関係機関で構成するネットワークと連携・協力したワークショップの実施や、高齢者の就業ニーズと企業等の人材ニーズとのマッチングを行うことにより再就職等の支援を目的とした事業です。



「全シ協定期総会決議」に係る 要請行動

(社)全国シルバー人材センター事業協会の平成21年度定期総会が6月11日に開催されました。

この総会において「シルバー事業運営のため、国・都道府県及び市区町村に対し経費の補助や公共サービス部門でのシルバー事業の活用などに特別な配慮などの支援、協力をお願いする」決議が採択されました。

全シ協においては、厚生労働省はじめ国会議員等関係機関に対し、この決議書により要請を行いました。大分県連合会におきましても、7月14日に安東会長が大分労働局永井職業安定部長並びに大分県米田商工労働部長を訪問し、大分労働局長、大分県知事に対し、シルバー事業発展に向けての支援・協力を要請しました。

決 議

少子高齢化を伴う人口減少社会が急速に進展し、引退を機会とした社会生活を維持していくためには、全市民参加社会の実現、なかんずく高齢者・高齢者が地域を担い活躍できる環境づくりを急務として、地域社会の「員として」働き、あるいはボランティアをはじめ、さまざまな社会活動に参加していくことができるようにすることが大変重要である。

シルバー人材センターでは、こうした要請に答えて制度策定以来四半世紀以上にわたって、地域社会を支える中核的な組織として活動を続けており、今日では全国市区町村の八割の地域において、地方公共団体と連携し、市民生活に密着した介護福祉・教育・防災・就業サービス・ボランティアをはじめとする地域福祉の保全など、安心と活力ある社会の実現の一翼を担う企業型運営方式の事業を展開しています。こうしたセンターの活動は、会員の健康の維持・増進にも大きく貢献しており、会員の医療費や介護費は同世代の一般高齢者に比べて低く、社会的な課題となつていない医療・介護財政の軽減にも寄与していることとす。

また、世界的な金融危機に端を発する我が国の景気の悪化を受け、現下の雇用失業情勢が、高齢者を余儀なくされた中高年齢層の失業者に対する差別の雇用・就業機会を創出することを目的とする緊急雇用創出事業において、シルバー事業の継続をかけた取組を進めたいところである。

私達は、自主自立・共働共助の理念の下、より多くの高齢者が、就労の機多様な活動に参加し、誇りを持って生活できるような環境づくりのために、国の雇用創出政策に呼応するべく、(一)〇〇の年々急増する高齢者の就業機会を創出するべく、新時代の要請にこたへる事業の構築を目指し、目的意識の強化にも取り組んでいることとす。

しかしながら、高齢者の幅広い、かつ多様なニーズや地域の特色に沿ったきめ細かなシルバー事業運営のための経費を、事業の実施に伴う事務費収入等のみで賄うことは、大変難しい状況にあります。

つきましては、高齢者が働くことの意義とセンターの役員・会員が、体と心をつなぐ事業の刷新努力に「層の厚い」理解をいただき、経費の補助や公共サービス部門でのシルバー事業の活用などに特別な配慮を賜り、この事業のさらなる発展が図られますよう、ここに当協会定期総会の総意として、国・都道府県及び市区町村の支援・協力を強くお願いするものです。

右決議す。

平成二十一年六月十一日
社団法人 全国シルバー人材センター事業協会
平成二十一年度定期総会



大分県商工労働部長への要請



大分労働局への要請

センターだより

今回の「センターだより」は、安全就業月間の標語・エッセイ募集時期に寄稿頂きました随筆を掲載させていただきました。

楽しい活動

「そげえ働かな、わりいかえ。」

黄色のジャンパーを着て役場の前に座っていると声を掛けられた。私の前歴をご存知の運転手さんからだ。

私は、我が家の風呂場の修理に左官屋さんをお願いしたことがあった。安い料金で立派な仕事をして頂いた。昨年また、トタン屋根の修理をお願いすることにした。来て下さった大工さんも本当に真面目でよい仕事をして下さり有難かった。仕事のお世話をされる方も皆さん気持ちの良い方々ばかり。立派な仕事を安い日当でして下さり本当に感謝した。

私はこんな方々と仲間になれると楽しいだろうなと思って、丁度老人クラブ婦人部長の役目も終わったので、収入と活動の一举両得のシルバーで働けないかと思って入会させて頂く事にした。こんな真面目で気持ちの良い皆さんと仲間になって活動できたら楽しいなと思ったのである。総会や地域の集まり皆さんとの交流も大変楽しい体験だったし、名簿を見ると私のように教員上がりの方もおられて、別に気にすることも無いと分かった。年間計画を見ると、旅行もある。参加できたら楽しいだろうなと思う。総会の帰りに頂いたエコバックも大変気に入って喜んだ。

嬉しいのは、「都合で交代して欲しい」と頼まれたスクールバスの見守りガイドの仕事である。かなりボケて子どもの名前も覚えられない上、失敗してご迷惑をかけることがあると大変

国東市 友成 眞子



だと不安ではあったけれど、勇気を出して頑張るぞとお引き受けした。

初めは、幼稚園の帰りのスクールバスに乗る仕事である。並んで園から出てくる可愛い園児達、「お帰り」と声をかけて乗ってもらおう。「ほくがさきとった。」「うさぎ組みは、ここは危ないからだめ。」などの席争いのトラブルもあったけれど園児達の楽しいお話を聞きながら初めての道を通るのも楽しかった。

別の日、「しらさぎへ行ったらお姉ちゃんがくれた。」お菓子の入った袋を嬉しそうに抱えているのを見て「運転手のおいちゃんにもあげよちゅうたろうが。」運転手さんが言うと「言わんじゃった。」と、大事に抱えている。「どんな歌うたったか教えて」と頼むと、ちゅうりつぷ、むすんでひらいて、ぞうさん、など上手に歌ってくれる。疲れて眠ってしまっただけ抱っこする子もある。緊張の場面もあるが、あっという間に仕事が終わる、役場へ帰ってくる。朝7時出発するお迎えのスクールバスも結構楽しい。これでお小遣になるとは嬉しい限りだ。私は、スクールバスの交代仕事は楽しい仕事と感謝し喜んで居る。

私が一番したい仕事は、健康体操やダンスやコーラスである。バス旅行のお世話ガイドもしてみたい。こんな仕事に声がかかると嬉しいなあと期待する私が居る。

毎日が充実

定年退職の初日のこと、「今日からは自由だ」と張り切ったものの、さて、何から手をつけてよいのやら…。書類等の整理や片付け、家庭菜園の再開等。特に趣味を持たない自分には、何か物足りない日々でした。

そんなある日、「シルバー人材センター会員募集」を思い出し、説明を聞いて、すぐに登録しました。自分に合う仕事はなかなか見つからなかったものの、「事務局の加勢をしてほしい。」旨の連絡があり、内容を聞いて、「自分にもできるのでは。」と始めました。現役時代のパソコン操作や簿記の経験を活かすことができ、毎日楽しく仕事をさせてもらっています。また、広報誌の作成や新規事業の企画提案にも、快く受け入れてもらえる事務局の雰囲気にも助けられています。

もし、シルバー人材センターがなかったら、趣味を持たない自分は、毎日をどのように過ごしていたかを考えると、ぞっとします。といいますのも、退職に伴ううつや、思わぬ病に伏せると

豊後高田市 大宮 勝



いうニュースを聞く機会が多く、自分に重ね合わせ、悶々としていた定年前の数ヶ月間。「どうすれば…。」の日々が続いていました。今の自分からは想像できない毎日でした。

会社定年といっても身体はまだ若い。仕事を通じて社会とつながっているという気持ちと、毎日が充実し楽しく働けるのは、シルバー人材センターの精神である、共働・共助を会員・事務局が一体となって推進しているおかげだと感謝しています。高齢化社会が進む今日、センターの役割はますます必要となってくると思います。これからも仕事を通じて、自分の経験と知識を活かし、シルバー人材センターの発展に努力していきたいと考えている毎日です。

シルバーは学び屋

シルバー人材センターの我が町の設置に関心をもって。三町合併により、「由布市シルバー人材センター」が発足し、我が町も含まれた。21年度の募集が行政からの回覧で来た。

即刻センターに電話を入れた。担当職員のテキパキした対応、心地よかった。申請に来るように日々(ひにち)の指定があった。資格覧には(衛生管理者外10個と)書いた。小生二ヶ月余りで64才になる。自分から希望して、シルバーセンターのお世話になろうとは考えていなかった。今は、やり甲斐を見出し始めている。剪定の初日、県林業研修センターの梅の木、先生は松ノ木の剪定、切りそこねたら取り返しづかない、二度三度と教えを請うた。詳しく丁寧に指導してくれる。授業料も支払うことなく、技術力が向上出来る。「木を切るのがおもしろい間は半人前とも」

総会に出席した。事業報告書の文面に次のように記されている。「健康で生きがいの充実」を図り豊かな知識や経験技能を積極的に発揮し地域社会に貢献する役割は今後益々重要となってくる……とある。

由布市 後藤 喜重



まさに的を得ている文言である。現実を浮きぼりにしていると思う。(今の若い者には出来ないと言いきることはしないがこれからは難しい時代がやってくると危惧するのは、取り越し苦労であろうか。)

施主様の庭、それぞれの者が思いの持場につく、必要以外の私語はない、仕業の流れで他の人が、脚立の下を移動する。「落ちる時は声を掛けよくれ」お互いの声掛けで事故を防ぐ行為……、休憩は10時と15時、昼食は皆で輪になり仕事のこと世間ばなしで弾む、私は三ヶ月たらず、初対面の人ばかり。

16時過ぎには、きれいに掃きあげて仕業を終える。見事なまでの人員の投入であると感心する。

互いに挨拶をかわし家路へと向う。

シルバー人材センターの輪の広がり充実を願う者の1人である。

シルバー世代の仲間入りで思う『父の背中』

由布市 波多野 洋一郎



時は昭和三十年 連日降り続く雨で、今夜も父は重い雨合羽を着込みガス燈を手に、降りしきる雨の暗闇に消えていきました。母は深夜に帰って来る父の夜食の準備で、味噌汁の具を切るまな板の微かな音をまどろみながら床の中で聞いていた小学生の私でした。ここは国鉄久大本線「北山田駅」父は保線区の保安員(線路工)としてこの地で勤務しておりました。大雨、台風、冬場の大雪になると夜は必ず保線のために最終列車が通過すると、翌日の始発列車の運行に支障がないように、上りは「杉河内駅」下りは「豊後森駅」までの線路の警戒です。夏は炎天下、立昇る陽炎の中に揺れ動く数人の工夫の姿。重いバールをレールと砂利石の間に入れて軌道の平行度を修正します。

カーブではそのカーブの「R」いわゆる半径の大きさに合わせて左右の軌道の高さを測り、枕木の下「つるはし」という鶴の嘴に似た道具を用いて砂利石を打ち込みレベルの調整をします。こうして通過する列車にかかる遠心力による車体の傾きを防止します。

こうした父達線路工の保安によって、遠くから蒸気機関車の汽笛が聞こえてきます。今朝も無事に始発列車がゴトン、ゴトンとレールの継目をたたく音が、子供心に「ホッ」と安心感をいだかせてくれました。

特にここ北山田駅のある玖珠地方は冬場は凍てつき雪も

多く列車の運行にも支障が多くあった様ですが、モクモクと白い煙を吐きながら雪煙を巻き上げ走り去る勇壮な蒸気機関車を見ながら、線路工の父を誇らしく思いました。

五十五才で定年退職その後建設会社の軌道に関する仕事に従事。野菜作りを楽しみ、夕暮れになると好きな焼酎に舌つづみ。八十才で他界しましたが、幸せなシルバー人生だったようです。

私も平成二十年六十才で定年退職いよいよシルバーの仲間入りです。

昭和四十二年関西の企業に就職、当時は皆がそうでしたが「会社の歯車になって」を合い言葉に業務に励み四十二年間のサラリーマン生活が終わりました。途中Uターンで兼業農家となり多忙ではあったが充実した四十二年でした。

現在六十才はまだ働き盛り、六十五才を定年とする動きもあります。シルバー世代を迎えた我々も現役並みの生活が要求される昨今「悠々自適」は先送り。畑仕事の手を休め遠くの田園風景に目をやると、今日もJR久大本線に列車が走っています。「ふと」父の背中が思い出された一時でした。

平成21年度

安全エッセイ紹介

良き先輩へ『ありがとう』

(社)由布市シルバー人材センター 平岡 照受

私の先輩で、いつも作業の前のんびりした人がいます。なんとのんびりとした方だなー、もう少し早く作業に取り掛からないかと思っていました。

ある日その先輩にその事を話して尋ねたら「そんなに急がなくてもいいじゃー」それよりどの様にしたら効率良く仕事が進むか作業の段取りを考え危険な所はないか

確認して仕事に取り掛かる方が仕事がかどるんでーと言われました。

私もその言葉を見習いたいと思いました。

よき先輩へ『ありがとう』



『安全推進委員10年の思い出』

(社)佐伯市シルバー人材センター 石谷 一也

センターの安全パトロールに、初めて同行した時に「平地に立って松のみどり摘みしている時も、安全帽がいるのか?」と問われて「本当に必要の都度、脱着するんですか?」ときつい返事をしてしまいました。

民間企業を定年退職した或る日「これに行ってみては?」と、連れ合いが指さした新聞に、県が主催する高令者向けの造園講習記事がありました。佐伯職業訓練校で一年間と出ていましたが、実質は延40日足らずで、植栽や石組みは、卒業記念に22名の仲間とミニ庭園を造った時だけでした。それでも、あの優雅な水琴窟作りを体験できて、感激しました。その講習会の修了式に、来賓として挨拶された当時の(社)佐伯地域シルバー人材センター事務局長さんに勧誘されて、樹木剪定の上手な、元プロの下で一年間学ばせてくれるならとの、厚かましい条件を付けて入会したのは、平成10年4月でした。以来、心地よい汗をかいて来ましたが、平成19年の秋にスズメ蜂に刺され「2度目は命にかかわるかも」とのドクターの言葉で、剪定作業から退却しました。

さて、剪定仲間の顔をやっと覚えた平成12年頃、安全推進委員に指名されて、大きなとまどいを覚えました。それというのも、現役時代の5~6年間、企業の安全衛生担当に従事しながら、防災団体の事務局の手伝いや、労働基準局の防災指導員の仕事等をする時

は常に、労働安全衛生法が支えでした。でもシルバー会員は、労働関連法は適用除外。センターには指揮命令権は無く、管理責任は無いとされている中

で、何をよりどころに任務を果せばよいのかと思ったからです。そしてその思いは、安全推進委員長に指名され、増々強くなって行きました。

そんな中で見えて来たのが、センターの安全は管理ではなく、会員の活動によって醸成すべきものという事でした。

そこで、次の事を念頭に進めていきました。

- ①安全委員会で年間計画を策定し、安全推進委員が事務局の協力を得て実践する。
- ②職郡班を実動部隊と位置づけ、職郡運営要綱の見直しと安全就業手順書の検討と作成を要請する。
- ③会員への情報提供を拡充するため、安全だよりB5版をA4版にし、新たにシルバーだよりB4版を発行する。
- ④全会員共通の目標、連続無事故記録への挑戦をする。

3年前の残暑厳しい剪定現場のパトロールで、脚立の上から「ご苦労さん、気づいた事はその場で言って」と声を掛けられた時は、ほんとうに嬉しくて、安全推進委員を任って良かったと思いました。



平成21年度
安全標語入選作

入賞おめでとう!

多数応募いただいた中から選ばれた入選作をご紹介します。

最優秀賞	(社)豊後高田市 シルバー人材センター	大宮 勝	安全は 気配り、目配り、思いやり 心のゆとりで防ぐ事故
優秀賞	(社)大分市 シルバー人材センター	益田 初子	一寸待て 安全確認 怠るな
	(社)別府市 シルバー人材センター	清末 英隆	安全を 確認するのも 立派な仕事
	(社)中津市 シルバー人材センター	林田 泰徳	ホッとした その一瞬に 死角あり
	(社)日田市 シルバー人材センター	森山 吉人	安全は 君も私も 責任者
	(社)佐伯市 シルバー人材センター	戸高 利到	守る自覚と続ける努力 みんなで目指す 無事故の輪
	(社)白津地域 シルバー人材センター	川野 昭光	注意する される仲間で 事故はなし
	(社)宇佐市 シルバー人材センター	溝口 義喜	もう一度 目と手で確認 安全就業
	(社)豊肥地域 シルバー人材センター	梅木 清	足元よいか 回りもよいか あとは心に安全帯
	(社)国東市 シルバー人材センター	舩永 弘行	安全就業は 各自一人ひとりの自覚から
	(社)豊後高田市 シルバー人材センター	馬場 忠一	危険カ所 他人に任せず 自分で確認
	(社)由布市 シルバー人材センター	後藤 喜重	安全に妥協なし 互いに声掛け 事故防止

編集後記

第45回衆議院選挙が8月30日即日開票され、民主党が圧倒的な308議席を獲得。日本の政治が民意の反映によりこのような政権交代がなされたのは、初めての事。新たな政権政党となった民主党が、シルバー人材センター事業に理解を示してくれることを切に願う次第です。

高齢化社会を迎える中で、シルバー人材センター事業の果たす役割は益々高まるものと思っています。

この機関誌がシルバー事業のPRの一助になるよう、今後ともよりよい編集にむけて取り組んで参ります。ご意見等ございましたら、編集部までご一報下さいますよう。

大分県連合会 広報担当

平成21年度

会員名簿

会員種別	団体名	代表者	所在地	電話番号
正会員	(社)大分市シルバー人材センター	理事長 安東 保	大分市高城西町32-16	097-552-3220
正会員	(社)日田市シルバー人材センター	理事長 小埜 澄夫	日田市淡窓1-1-1	0973-24-7676
正会員	(社)佐伯市シルバー人材センター	理事長 小嶋 敬吾	佐伯市長島町1-28-2	0972-23-3001
正会員	(社)別府市シルバー人材センター	理事長 大塚 利男	別府市新港町2-30	0977-24-4080
正会員	(社)臼杵地域シルバー人材センター	理事長 神田 貞夫	臼杵市板知屋1257-1	0972-62-2550
正会員	(社)宇佐市シルバー人材センター	理事長 清原 吉春	宇佐市四日市263-1	0978-33-5005
正会員	(社)中津市シルバー人材センター	理事長 太田 秀彦	中津市蛸瀬1366-3	0979-24-4567
正会員	(社)豊後地域シルバー人材センター	理事長 関谷 明運	豊後大野市三重町市場870-2	0974-22-7877
正会員	(社)国東市シルバー人材センター	理事長 浅井 幸一	国東市安岐町下山口46	0978-67-2991
正会員	(社)豊後高田市シルバー人材センター	理事長 都甲 昌叡	豊後高田市新町1007-4	0978-24-3737
正会員	(社)由布市シルバー人材センター	理事長 獅々賀福生	由布市狭間町向原17-2	097-540-7992
正会員	杵築市シルバー人材センター	理事長 吉田 正男	杵築市大字南杵築1678番地	0978-62-5677
特別会員	(財)大分県総合雇用推進協会	会長 幸重 綱二	大分市金池町1-1-1	097-537-5048
特別会員	(社)大分県シルバー人材センター連合会	常務理事兼事務局長 加末 正年	大分市金池町1-1-1	097-540-6313
賛助会員	大 分 市	市 長 釘宮 馨	大分市荷揚町2-31	097-534-6111
賛助会員	別 府 市	市 長 浜田 博	別府市上野口町1-15	0977-21-1111
賛助会員	中 津 市	市 長 新貝 正勝	中津市豊田町14-3	0979-22-1111
賛助会員	日 田 市	市 長 佐藤 陽一	日田市田島2-6-1	0973-23-3111
賛助会員	佐 伯 市	市 長 西嶋 泰義	佐伯市中村南町1-1	0972-22-3111
賛助会員	臼 杵 市	市 長 中野 五郎	臼杵市臼杵72-1	0972-63-1111
賛助会員	津 久 見 市	市 長 吉本 幸司	津久見市宮本町20-15	0972-82-4111
賛助会員	竹 田 市	市 長 首藤 勝次	竹田市会々2250	0974-63-1111
賛助会員	豊後高田市	市 長 永松 博文	豊後高田市御玉114	0978-22-3100
賛助会員	宇 佐 市	市 長 是永 修治	宇佐市上田1030	0978-32-1111
賛助会員	豊後大野市	市 長 橋本 祐輔	豊後大野市三重町市場1200	0974-22-1001
賛助会員	国 東 市	市 長 野田 侃生	国東市安岐町中園100	0978-72-1111
賛助会員	由 布 市	市 長 首藤 奉文	由布市庄内町柿原302	097-583-1111
賛助会員	杵 築 市	市 長 八坂 恭介	杵築市大字杵築377番地1	0978-62-3131